◎ **浄土真宗基礎講座(兼 超覚寺女子会定例会)：１４時～１５時**

毎月２８日（御開山 親鸞聖人の御命日）に開催しています。

今後の開催日⇒**1/27（金）、2/28（火）、4/28（金）**

3月は春季彼岸会があるので休会します。

1月からは、浄土真宗に関する「問い」を皆でワイワイ雑談しながら深めていく座談会形式で行ないます。どうぞ奮ってご参加ください。

◎ **死別の分かちあいの集い**(予約･参加費不要)：**１３時～１５時**

･**伴侶：毎月第１土曜日（*1/7、2/4、3/4、4/1、5/6、*）**

･**自死：毎月最終土曜日（*1/28、2/25、3/25、4/29、5/27*）**

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◎ **ほっ！と相談：毎月第2火曜日　１３時～１６時**

こちらは、精神対話士（メンタルケアの専門家）との１対１の面談形式です。日頃、心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっとする時を持ちませんか？

◇ **報告･連絡･“僧”談**

・２０１６年は広島カープに喜ばせてもらった１年ですが、様々なカープグッズを買った１年でもありました。表紙の写真は、その中でも超レアな広島刑務所コラボのユニフォーム型ポーチです。反射材でできていて、「PRISON」のタグも激レア感を高めています。私が刑務所の教誨師を務めている御縁で、比較的簡単に入手できます。お寺に十数個ありますので、1個500円でお分けできます。御入用の方はどうぞお申し出ください。

・１１月の報恩講でもストーブが不要なほど、今年の暖かさは長く続きました。でも１２月に入り朝晩の寒さが厳しくなると感染症の病気が流行り、やはり冬だなぁと感じます。今年も残すところ数日、年末の予定に何かと気忙しいことでしょう。でも、時間に流されることなく2016年をじっくり振り返る年の瀬であってほしいと思います。どうぞ御自愛し、年末年始をお過ごしください。

発行人：超覚寺住職　釈隆恩(和田隆彦)　　(*￣-￣)人 i~ 合掌

2016年12月冬 超覚寺報 第25号

【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)

林鶯山 憶西院 超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI

〔since 仏暦2002，西暦1619，元和5〕

〒730-0013　広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel　：082-221-1234；090-9999-3113

Mail　：wada@namuamidabutsu.com

HP　：http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 冬の法要 のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、ありがたく存じます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 超覚寺門徒 ２０１６年 総追弔会 兼 永代経法要

１２月２８日（水）１４時～１４時３０分 勤行・法話

今年最後の法要です。阿弥陀様やご先祖様に、この１年間を 無事に過ごせたことを感謝すると共に、その仏徳を讃えます。法要後は茶話会を開きますので、お互いの想いを共有いたしましょう。有縁の方々はどうぞお参りください。

終了後に仏具のお磨きをします。御都合の良い方は残ってお手伝い頂ければと思います。ワイワイしゃべりながら作業するのは楽しいものです。

◎ ２０１７年修正会法要

1月1日（日・祝）６時～、８時～、１０時～、１２時～、

１年の計は元旦にあり。「2017年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀様にご挨拶申し上げましょう。皆さまと共に勤行し、住職が法話をします。約10分ほどの法要です。ご一緒にお念仏申しましょう。元日は本堂を終日開けております。お墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。

◎ ２０１７年 春季彼岸会法要

3月19日（日）１３時～ 勤行：住職

１３時３０分～(休憩)～１５時３０分

高座説教：祖父江佳乃師

今年も名古屋市の有隣寺住職、祖父江佳乃師に御出講いただきます。

★ 超覚寺開基４００周年記念法要について

1619(元和5)年、紀州和歌山藩主・浅野長晟が安芸広島藩に国替えとなった時、和歌山城下にあった超覚寺(当時は長覚寺)も行を共にし、広島城京口御門の近くに3、000坪の土地を与えられました。大手門付近にあった国泰寺が浅野家の菩提寺であったのに対して、超覚寺は上級藩士の菩提寺としての役割を担っていました。超覚寺の紋の「丸に違い鷹の羽」は浅野家と同じ紋です。

2019年は、超覚寺が広島に遷って丸400周年に当たり、その記念法要をぜひ勤めたいと考えています。今のところ、多数の布教使を招いて法話大会を開き、御門徒へ配る記念品を作成できたらと思っています。何か相応しい企画があれば御提案ください。なお、記念法要のための寄付を募ることは一切ありませんので、どうぞ御安心ください。

ちなみに、私も広島に来て20年、第17代住職になって4年が経ちました。お寺の生まれ育ちでもない、いちサラリーマンだった私を受け入れてくださり、超覚寺門徒の皆さまには本当に感謝しております。私の務めは、超覚寺を護持し、浄土真宗の法義を相続していくこと。具体的には、①寄付を募ることなく御布施・御供・墓地管理費だけでお寺を維持し、②生前法名を受ける方を増やし、③後継者を育成すること。これを成し遂げていくことが、皆さまへの御恩返しと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

◇ 寺院護持費（墓地管理費）について

遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行　１５１９０－５５７７０６０１】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込む際は次の内容をご指定ください。

【店名】五一八【店番】５１８（普通）５５７７０６０

御自身のお名前を入力せずに振り込まれる方がいらっしゃいます。

お心当たりの方は超覚寺まで御連絡ください。

◇ “寺”後報告 【 超覚寺報恩講 】

１１月３日に無事勤まりました。２８名がお参りくださいました。全国で活躍されている浄土真宗本願寺派僧侶の安藤圣一さんをお招きし、琵琶の弾き語りと人形説きで「親鸞聖人御絵伝」を講演いただきました。親鸞聖人の出家と苦悩、法然上人との出遇い、坂東での生活振りを劇的に語ってくださいました。









報恩講の御斎(おとき)は精進料理で、赤飯、煮ごめ(小豆、大根、ニンジン、レンコン、里芋、ゴボウ、薄揚げ、干しシイタケ、こんにゃく、豆腐)、煮物(ニンジン、インゲン、干しシイタケ、、高野豆腐）、白和え(白ごま、ホウレンソウ、ニンジン、こんにゃく)、醤油昆布です。

それぞれのメニューには、由来があります。親鸞聖人が好きだったという小豆からお赤飯。親鸞聖人の関東時代の伝道のお姿から、シイタケは「笠」、薄揚げは「袈裟」、ゴボウは「杖」になぞらえています。また、親鸞聖人が寒夜に枕にして休まれたという「路傍の石」を里芋、手足の「アカギレの血」をニンジンで、ということが伝えられてきました。

かつてはどこのお寺でも手作りでしたが、時代とともに仕出し弁当に変わるところが増えました。超覚寺では報恩講の前日から準備しています。順繰りで門徒さんにお手伝いをお願いし、手作りの御斎を続けています。肉食ＯＫの浄土真宗は精進料理にこだわる必要は無いのですが、あえて特別な料理を食することで、親鸞聖人の御恩に想いを馳せてほしいと願っております。

◇ “寺”後報告 【 釈尊成道会 】

お釈迦さまが覚られた１２月８日、超覚寺門徒で行政書士の岡村奈七江さんを招き、終活講座を開きました。今回は、相続と遺言について詳しくお教えいただきました。行政書士会作成のエンディングノートも配られましたが、シンプルで使い勝手が良さそうでした。



終活なんて先の話と思われがちですが、いずれ決めなければならないことですし、「後生の一大事」を心に掛けてお念仏申すことが真宗門徒の行でありますから、早過ぎるなんてことはありません。早めに考えてみませんか。

なお、終活講座に先立って帰敬式が行われ、御門徒の男性２名とウチの三女が受式し、生前法名を受けました。御自身で考えられた法名で仏弟子になるということは、御自身の想いや生き様がその法名に託されて家族に伝えられていきます。超覚寺では毎年１２月８日に、東本願寺ではほぼ毎日、帰敬式が行われます。受式したい方は御相談ください。御一緒に法名を考えましょう。



三女の法名は【釋尼愛温】です。

◎ ２０１７（平成２９）年の法要日程予定

・1月1日(日・祝)	修正会　6時・8時・10時・12時
・3月19日(日)	春季彼岸会(＋節談説教)　13時
・4月9日(日)	花まつり(釈尊降誕会)　10時
・8月6日(日)・9日(水)	原爆殉難者追弔会
・8月14～16日(月～水)	盂蘭盆会　10時
・9月23日(土・祝)	秋季彼岸会(＋八丁堀寄席)　13時
・11月3日(金・祝)	報恩講(＋御絵伝)　10時
・12月8日(金)	釈尊成道会(＋帰敬式)　13時
・12月28日(木)	総追弔会兼永代経法要　13時

◇ 2017年に慶事のある方がおられましたら、お知らせください。

成人式を迎える方、結婚される方、出産される方へ、東本願寺からのお祝いとして、**記念品(お念珠)**を授与いたします。

この慶事を機縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りや御先祖様へのお墓参りが報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等をお伝えできたらと思います。どうぞいつでもお申し出ください。

◇ ２０１７（平成２９）年の御法事をご確認ください。

・2016(平成28)年：　1周忌	・2015(平成27)年：　3回忌
・2011(平成23)年：　7回忌	・2005(平成17)年：13回忌
・2001(平成13)年：17回忌	・1993(平成5)年　：25回忌
・1985(昭和60)年：33回忌	・1968(昭和43)年：50回忌

お勤めは、ご自宅でもお寺でも大丈夫です。希望日時をお早めにご連絡ください。念のため、境内墓地通路脇の案内板に該当者名を掲示してあります。